



体を動かすことを楽しんでいます！

副園長 澤田 亮

今年の夏はとても暑く、その期間も長かったですね。2学期、幼稚園が始まって30度を超える日が続く、プール遊びや外遊びができない日が続きました。その中でも、先生たちはホールや廊下に巧技台や衝立を置いて体を動かして遊べるような環境を作っていました。先日、大学の先生と話している中で、「ここ最近、夏に戸外で遊ぶ、ということが難しいですね。暑さ指数を気にして外に出るよりも、いかに室内で体を動かして遊べるかを考えてもいいですね」と話題に上がりました。

9月13日、幼稚園にライズチャレンジクラブの講師ターザンが来て運動遊びを教えてもらいました。年長組は柔らかいボールを投げたり受け止めたりして、ボール遊びをしました。最後、2チームに分かれてゲームをしました。真ん中に一本橋を渡し、上に三角コーンを置いて、ボールを当てて相手の方に何本倒れたかを競いました(写真参照)。「やった！当たった！」「負けちゃったね。もう一回やろう！」など、勝ったり負けたりすることを楽しめる年長児にぴったりのゲームでした。

17日には、コーディネーショントレーニングとして、日本コーディネーショントレーニング協会の講師、毛利かなで先生と一緒に体を動かして遊びました。ウォーミングアップの体操から、動物に変身して飛び跳ねたり横歩きをしたりしました。マットからマットに移り、鬼から逃げる引越し鬼もしました。その後、毛利先生がマットや三角コーン、巧技台をホール中に置いて「ジャングル鬼ごっこ」をしました。走ったり止まったりすることはもちろん、かがんだり障害物を跨いだり、鬼から逃げることを楽しみながら、たくさんの動きを経験していました。

園庭ではようやく涼しくなってきた、子どもたちの元気な声も聞こえてきます。鬼ごっこやリレーで全力で走る、サッカーでボールを蹴る、ジャングルジムに何度も登るなど、思い切り力を出して体を動かすことを楽しんでいます。力を出し切って遊んだあと、子どもたちの笑顔はとても輝いています。

いろいろな動きを経験する活動や思い切り体を動かす遊びを通して、子どもたちの心や体はどんどんたくましくなっています。10月12日の運動会では、きらきらの笑顔で楽しむ子どもたちに、温かい声援とたくさんの拍手をお願いいたします。

「相手の方に落とした数が多いチームが勝ちだよ」
(ゆり組)



「動物になって鬼ごっこだよ」(ばら組)

「捕まらないように、逃げろ逃げろ」(もも組)

